

兵庫県保険医協会北阪神支部 第10回在宅医療研究会

パーキンソン病について

～診断・治療から最近の話題まで～

日時 **11月29日(土)** 18時30分～20時 参加費無料

会場 いたみホール3階 大会議室

(下地図参照 阪急伊丹駅より北へ徒歩約3分 JR伊丹駅より西へ徒歩約8分)

講師 西宮市・つちやま内科クリニック 院長 **土山 雅人** 先生

イギリスの開業医であったジェームス・パーキンソンは1817年に「振戦麻痺について」という論文を発表し、それがのちに'パーキンソン病'として知られる病気に結び付きました。最近では『バック・トゥ・ザ・フューチャー』で知られるハリウッド俳優のマイケル・J・フォックスがパーキンソン病であると公表し、パーキンソン病の研究をバックアップする活動を積極的に行っています。

200年近くの歴史を持つパーキンソン病ですが、本格的な治療がおこなわれるようになったのは50年程前からです。今ではドーパ剤をはじめ9種類の抗パーキンソン病薬が使われるようになり、深部脳刺激術などの外科治療も広まってきています。治療の発展とともにパーキンソン病患者さんの予後も改善し、発症から20年先を見据えた治療やケアを考える時代になっています。

今回はパーキンソン病について、テキストをもとに基礎知識から最近の話題までふれたいと思います。(土山記)



※お問い合わせは、北阪神支部担当事務局 (TEL 078-393-1801) 横山・小西・小川まで

(切り取らずにご送信ください)

【お申し込み】 FAX: 078-393-1802

在宅医療研究会(11/29)「パーキンソン病について」に()人参加します。

地区() 医療機関名()

氏名()

電話番号() FAX番号()

兵庫県保険医協会

北阪神支部 ニュース

2014年10月25日号 No. 241

発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部
支部長 中井通治

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階

☎(078)393-1801 FAX(078)393-1802

http://www.hhk.jp/

北阪神支部第29回支部総会・記念講演

最新の放射線がん治療に期待



講師の藤井正彦先生

北阪神支部は10月5日、伊丹市立図書館ことば蔵で、第29回支部総会を開催し、2013年度会務報告と2014年度活動方針を確認した。

記念講演は、「日本の新しいがん医療—低侵襲がん医療の役割—」をテーマに、神戸低侵襲がん医療センター理事長・病院長の藤井正彦先生を講師に行った。会員や市民ら62人が参加した。

藤井先生は、今までの日本のがん治療は手術中心だったが、放射線治療技術の進歩に伴い、治療成績は手術と遜色がなくなってきていると解説した。

そして、昨年ポートアイランドに開院した神戸低侵襲がん医療センターについて「小さく見つけて やさしく治す」をコンセプトにした、手術室を持たない低侵襲がん治療に特化した病院であり、高精度放射線治療が保険診療で可能であると病院の特色を紹介。

院内に設置しているサイバーナイフやトモセラピー、トゥルービームなど、最新の放射線治療装置について、実際の治療事例も紹介しながら、機能や治療効果をくわしく説明した。(2面につづく)



「最先端治療を学ぶ良い機会だった」という感想が多く寄せられた

(1面のつづき)

参加者からは、「放射線治療の最新情報、効果に明るい希望がもて、大変よかったです。自分自身、周囲の方々にもまず早期発見を強くすすめていきたいと思います」「最先端治療を学ぶ機会があり大変よかったです。ガン難民を少なくするために、とても大事だと思います。このようなセンターが増えてくれることを望みます」などの感想が寄せられた。

○祝電・メッセージ(順不同・敬称略)

池内春樹(兵庫県保険医協会理事長)、茅野涼一(宝塚医療生活協同組合理事長)
竹中秀夫(伊丹市医師会長)、末岡悟(宝塚市医師会長)、森田健司(伊丹市歯科医師会長)
藤原保幸(伊丹市長)、中川智子(宝塚市長)、大塩民生(川西市市長)、福田長治(猪名川町長)
大串まさき(衆議院議員)、ねりき恵子(県会議員)、上原ひでき(伊丹市会議員)
山本恭子(伊丹市会議員)、日本共産党川西市会議員団

○総会・懇親会ご来賓(順不同・敬称略)

上原ひでき(伊丹市会議員)、北原速男(伊丹市会議員)、となき正勝(宝塚市会議員)

第6回医療安全管理・院内感染対策研修会

「安全管理の現場から学ぶ」



北阪神支部は9月20日、第6回医療安全管理対策・院内感染対策研修会を伊丹市立産業・情報センターで開催。公立学校共済組合近畿中央病院・医療安全管理室看護師長の依藤泰子氏、同病院・感染管理認定看護師の上野一枝氏を講師に迎え医師・歯科医師・薬剤師・スタッフら41人が参加した。



「外来での医療安全管理」と題して依藤氏は、近畿中央病院におけるインシデント(ヒヤリ・ハット)事例発生時の対応、研修やヒューマンエラーを防ぐための様々な取り組みを紹介。また、上野氏は「院内感染対策の基本」をテーマに手洗い・手指衛生などの標準予防策や感染経路別予防策など、資料を交えながらわかりやすく解説した。

講師の依藤氏(上)、上野氏(下)

参加者の感想

- ・「医療安全」の視点に限らず、日々の業務の中で何のためにやっているか、わからないまま慣例のように業務が進むことがあることを思い返していた。医療安全は大げさな事ではなく、日々の少しの疑問から改善でき、対策がとれるのだと感じた。
- ・ヒヤリ・ハットの報告がスムーズに行え、速やかな対応ができるよう、院内システムの構築をしていきたいと思う。

伊丹社保協第5回定期総会

社会保障の切り崩し許さない

北阪神支部が事務局団体として加盟する社会保障をよくする伊丹の会(伊丹社保協)は9月5日、伊丹市立スワンホールで第5回定期総会を開催。加盟団体、市民ら30人が参加し、小泉勇北阪神支部幹事が再選された。



記念講演では、神戸女子大学講師・阿江善春先生を講師に迎え、「切り崩される社会保障に立ち向かうー安心して暮らせる地域社会を実現するために」と題して講演を行った。

開会あいさつにたった小泉幹事は、「医療は公共のものであり、いつでも、どこでも、だれでも必要な人が医療を受けられるようにするために医療保険制度は発展してきた。しかし、安倍政権下では医療が儲けの対象とされ、国民皆保険制度が形骸化されつつある。社会保障を切り崩していく政策を許さないように私たち国民は気をつけていかなければならない」と呼びかけた。

あいさつをする小泉勇幹事



☆北阪神支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。
日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せ下さい。

TEL 078-393-1801 / FAX 078-393-1802 e-mail junki@doc-net.or.jp 担当;横山まで



第327回幹事会だより

10月2日(木)伊丹市立産業・情報センター 会議室B

- ◆北阪神支部の会員数と組織率
10/1現在 医科324人(71%)、歯科171人(53%)
- ◆当面の支部活動
11月29日(土)第10回在宅医療研究会
「パーキンソン病について～診断・治療から最近の話題まで」
講師:つちやま内科クリニック 院長 土山雅人先生
いたみホール 3階大会議室 18:30~(4面案内)

以上を開催予定

お問い合わせはTEL 078-393-1807 小西・横山・小川まで